

NAIROBI
NATIONAL
MUSEUM

2021年3月15日 令和2年度第2回IPBES国内連絡会

野生種の持続可能な利用アセスメント
—LAとして参加して—

(国研) 森林総合研究所 主任研究員 古川拓哉

アセスメントの概要

スコープ

- 野生種の持続可能な利用を促進するアプローチ
- 野生種の利用を介した自然と人間社会の相互依存関係

評価期間

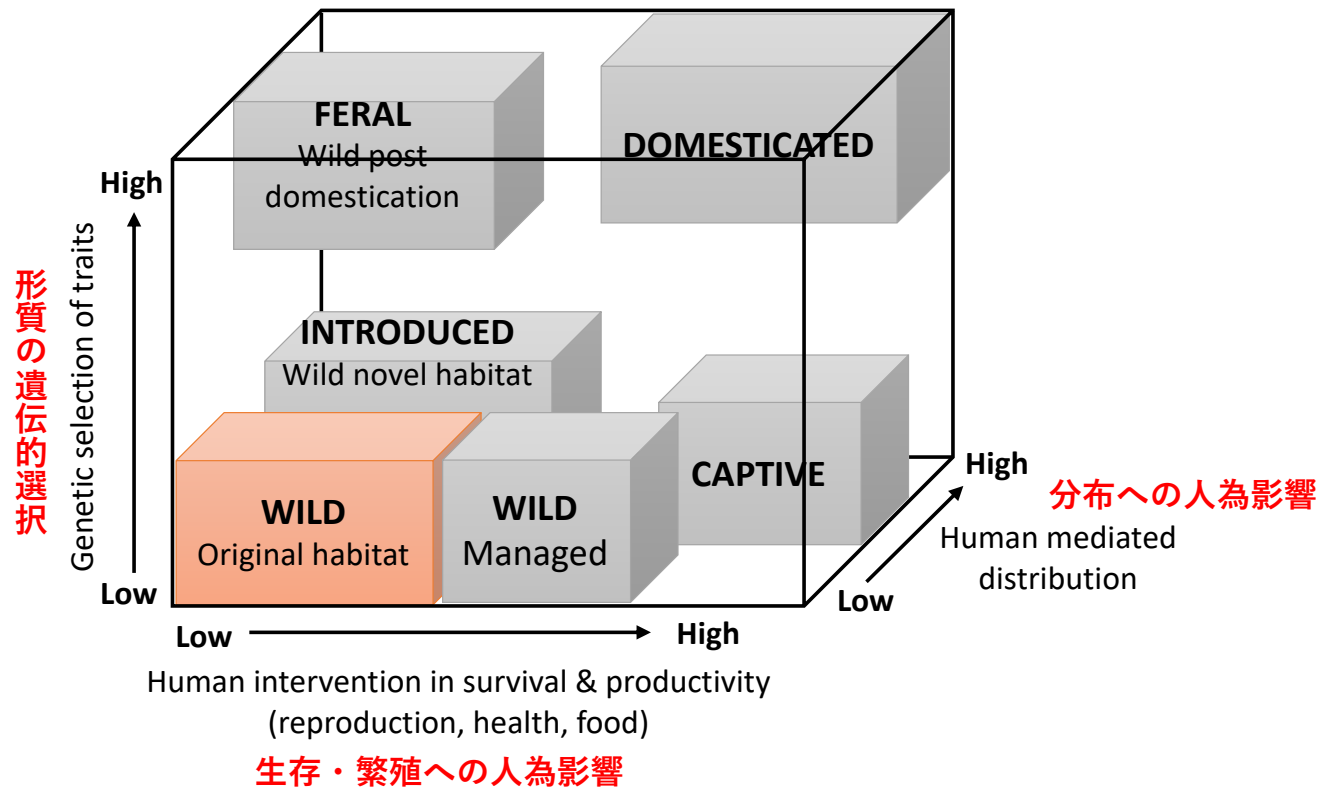
- 50年前～現在まで & 現在～2030年or2050年頃まで

章	内容	日本人・国内専門家
Ch.1	イントロ	大石高典・LA（東京外語大）
Ch.2	持続可能な利用の概念	古川・LA（森林総研）
Ch.3	利用の現状とトレンド	香坂玲・RE（名古屋大）
Ch.4	ドライバー	日和崎りさ・LA (IDRC) Rajarshi Dasgupta・LA (IGES)
Ch.5	将来シナリオ	太田義孝・LA（ワシントン大）
Ch.6	政策オプション	

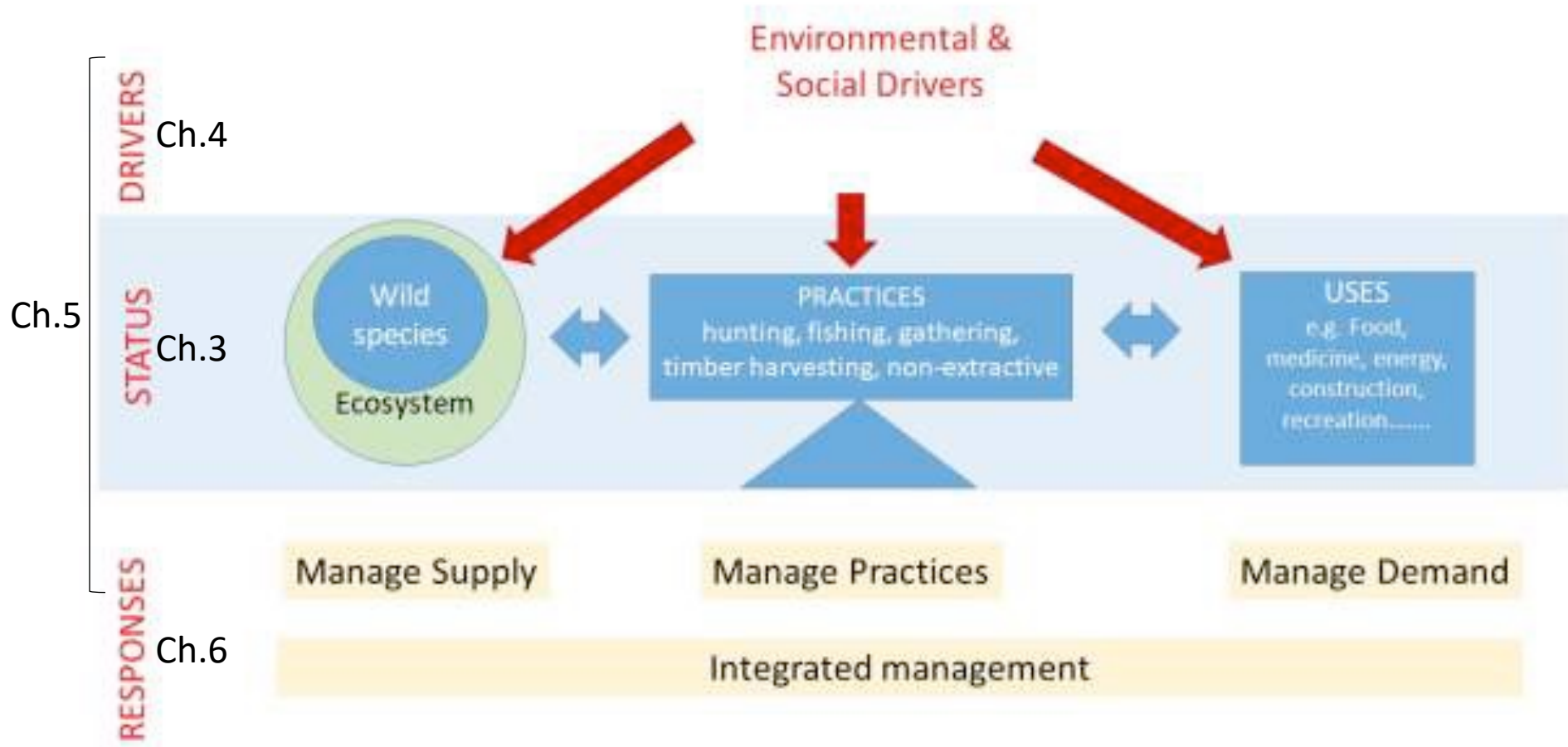
野生種(wild species)の定義

生物多様性の持続可能な利用

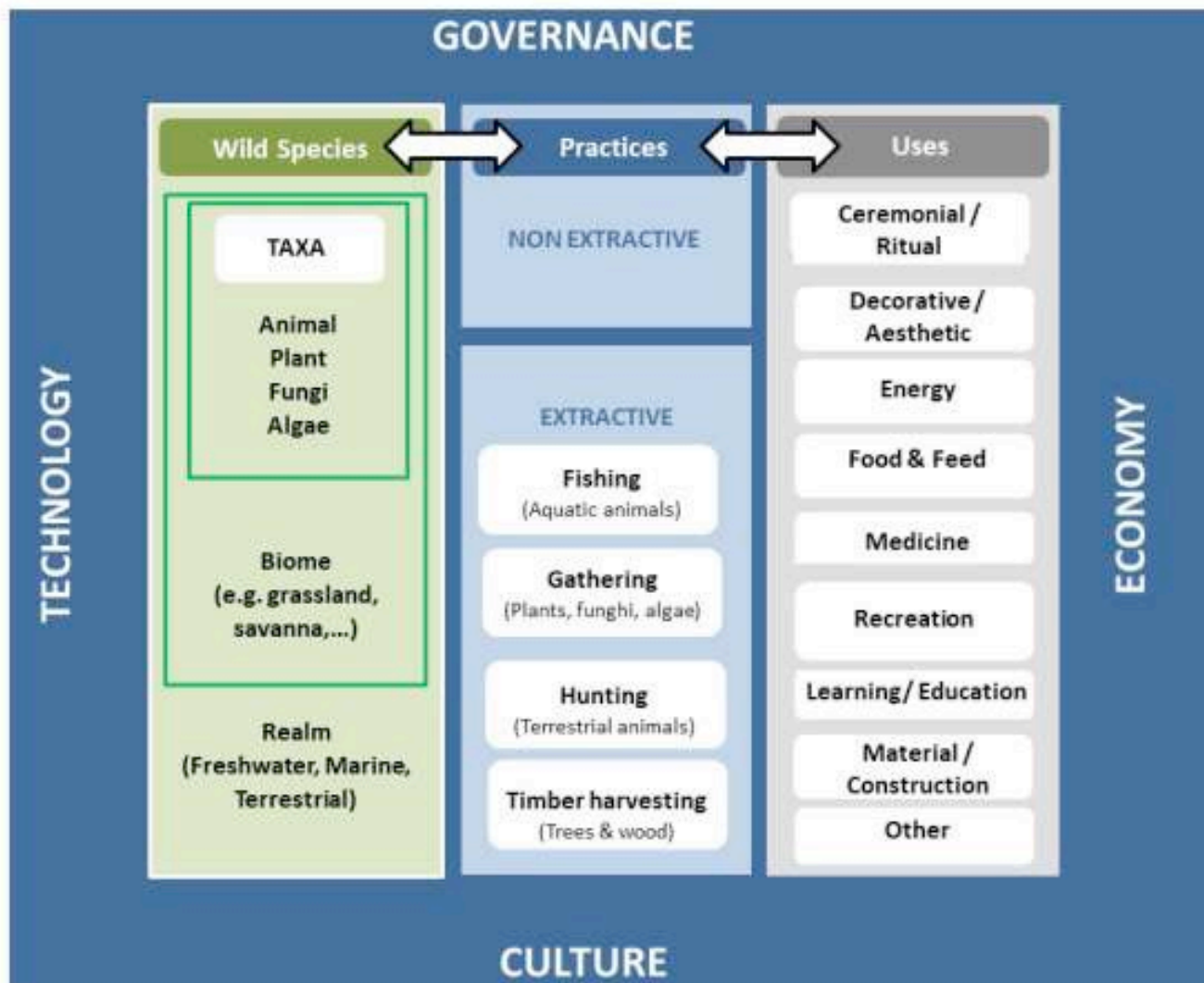
→ **野生種** の持続可能な利用



アセスメントの枠組み(1)



アセスメントの枠組み(2)



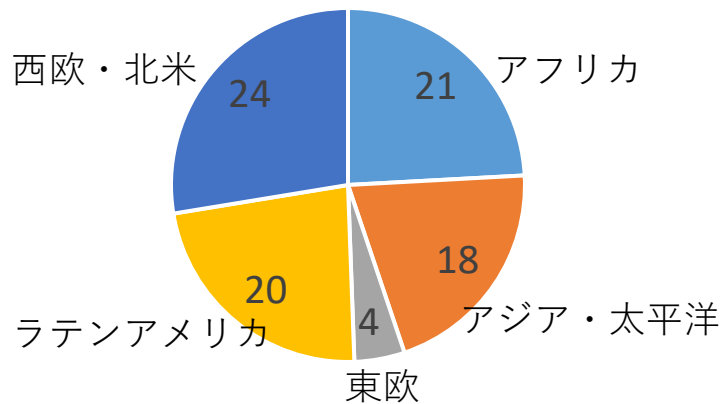
Virtual Consultation on the Sustainable Use of Biological Diversity for the Post-2020 Global Biodiversity Framework
<https://www.youtube.com/watch?v=nYjhrWffLcg> (49分～62分あたり)

進捗状況と今後の予定

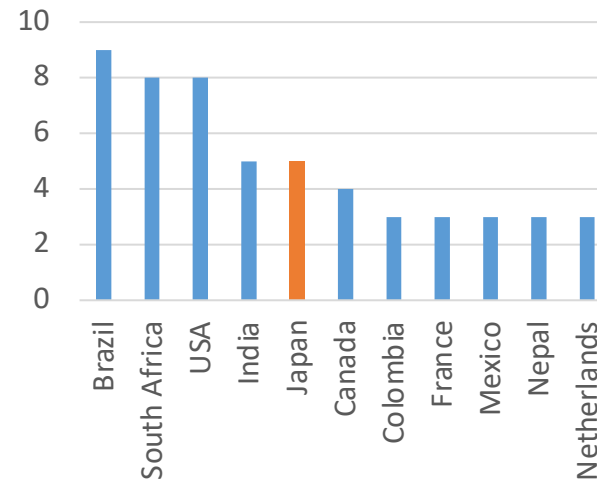
スケジュール		内容
2020年	11月	コロナ禍の影響からSODの外部レビューの先送りを決定し、執筆時間を確保
2021年	3月1日	SODのLA〆切
	3月3～5日	SPMワークショップ@オンライン
	4月1日	SPMとSODのCLA〆切
	4月15日 ～6月10日	SOD・SPM 外部専門家・政府レビュー
	5月～7月	第3回ILK対話ワークショップ
	7月26日 ～8月1日	第3回執筆者会合+SPMワークショップ @カナダ/フランス/オンライン?
	11月	SPM〆切
2022年	1月	本文〆切
	1月?	SPM政府レビュー?
	3月19～26日	IPBES 9

専門家の選出

- 多様性に配慮した人選
 - 専門性（自然科学、社会科学、学際分野、ILK研究）
 - 地域バランス（東欧、途上国が手薄な傾向）
 - ジェンダー（産休・育休取得にも理解あり）
 - 若手にはフェロー枠（研修、メンター制度、渡航費補助）



専門家の出身地域



専門家の出身国（3名以上）

こういう方にオススメ！

- 関連研究をしている（※前提条件）
- 先住民族・地域住民の知識（ILK）を研究している
- 海外研究者とのネットワークを広げたい
- 文献レビューが得意
- 政策提言に関心がある
- 学際研究や異分野協働に理解がある